



THE ONE MAKE RACE FESTIVAL 2013 FUJI

1-2.June.2013



REVIEW

Super FJ/FJ1600

ROUND 3



ザ・ワンメイクレース祭り 2013 富士 6月1日(土)に行われた最初のレース。予選でトップになったのは、Super FJ 41 B-MAX・エンドレス10V 今井龍太、続いて22 ペースメーカー150WM10V 赤堀憲臣、5 LTVイエローダック茶畑10V 上別府将司となっており、現在2連勝中の36太田達也は予選5番手からのスタート。FJ1600は38 オートルックEVOLEX・KH 原田建がトップ。続いて2連勝の20 IDI・ROMANTEC95 柿島昭一が並ぶグリッドとなった。午前中に行われた予選は晴天に恵まれ、最高気温25度、路面温度33度まで上がっていたが、お昼過ぎの決勝スタートの時には雲が広がり気温も下がってきた。各マシンが綺麗にスタートを切り、グリッドの順番どおりに1コーナーへ消えてゆく。S-FJクラスは41今井と22赤堀が序盤から激しいトップ争い、5周目にはコントロールライン上コンマ差で22赤堀が前に出るが次の周回には41今井がまた前というバトル、その後ろで5上別府と4番手に上がってきた36太田が表彰台をかけた激しい争いが展開されている。FJ1600クラスでは、2周目にスローダウンをして戦列を離れた38原田に変わり、20柿島と7 WRSペースメーカーSK02 赤堀康裕がトップ争いを続けている。12周で競われたレース、トップでチェッカーを受けたのは、Super FJは41今井、FJ1600は20柿島だった。レース後41今井は「赤堀さんと僕とで速い場所が違うので気の抜けないレースでした」と話し、20柿島は「最後の最終コーナーでぴったりと後ろに付き、ストレートで抜くことだけを考えて走っていました」と激戦を勝ち抜いた両者は話していた。



RESULT リザルト Super FJ

Rank	No.	Name
1	41	今井 龍太
2	22	赤堀 憲臣
3	5	上別府 将司
4	36	太田 達也
5	51	RAIDEN
6	37	神村 悠太
7	34	中西 慶佑
8	35	福島 政也
9	8	野村 大樹
10	88	Takashi
11	27	小松 周司
12	17	白石 隆
13	74	宮沢 孝由



RESULT リザルト FJ1600

Rank	No.	Name
1	20	柿島 昭一
2	7	赤堀 康裕

REVIEW

2013 MUGEN POWER Cup CIVIC One Make RaceSeries

ROUND 3



全国のサーキットを転戦して行われるCIVICは今回の富士が第3戦、8 DRAWINGms μMoty'sFD2 伊藤博之が2連勝でこの富士に臨む。予選では1'57.715で8伊藤がトップ。そこにランキング2位の7 オートボックスG-7HDCIVIC 大西隆生、73 ENEOS・EDワコーズCIVICと続くスターティンググリッドとなった。雲はさらに出てきているものの、富士山はくっきりとその姿を魅せているという変わった天候の中、13週の決勝がスタートした。トップ集団は予選順通りに周回を重ねるが、レース序盤の5周目にはトップ4台がほぼ横に並んだ状態でコントロールラインを駆け抜ける接戦に。7大西が僅差で1番手のポジションを奪い、徐々に2位以下を引き離しにかかる。その後ろでは激しい2番手争いが後半まで繰り広げられていたが、13週のレースは7大西、8伊藤、86 NUTECHエンドレスDIJON 水越真一の順でチェッカーとなった。7大西は「スタートで水越さんに前に行かれてしまい、レース前半は飛ばしすぎて後半はタイヤがズルズルになってしまいましたが、富士は一番好きなコースなのでここで勝ててとても嬉しい」と話していた。



RESULT リザルト

Rank	No.	Name
1	7	大西 隆生
2	8	伊藤 博之
3	86	水越 真一
4	73	並木 重和
5	38	カン ソンホ
6	5	RIKU

TOYOTA
REVIEW

Porsche Carrera Cup Japan 2013

ROUND 4



RESULT リザルト チャンピオンクラス

Rank	No.	Name
1	78	近藤 翼
2	8	松井 孝允
3	19	永井 宏明
4	32	飯田 太陽
5	10	川口 正敬
6	25	神取 彦一郎



RESULT リザルト ジェントルマンクラス

Rank	No.	Name
1	2	田島 剛
2	3	江本 玄
3	27	眞野 壮一郎
4	21	高田 匠
5	33	Ogino Tetsuo

REVIEW

Porsche Carrera Cup Japan 2013

ROUND 5



前日の第4戦決勝でマシンにダメージを受けた12 小河諒と14川端伸太郎は残念ながら第5戦までに修復が間に合わなかった。開幕から3戦で2位、優勝、優勝とポイントリーダーを走ってきた12小河だが、今回の第4・5戦がノーポイントになってしまうことで、これから後半の5戦でまだまだシーズンの行方がわからなくなってきた。第5戦のグリッドは第4戦決勝中のラップタイム順でグリッドが決定する。ポールポジションになったのは、8 25レーシングXロードサービス 松井孝允、フロントローには78 インプロブレッシング 近藤翼、Gクラストップは総合6番グリッドで2 TAJIMA RACING 田島剛。決勝では、好スタートの8 松井がトップの座を守りコンスタントに周回を重ね、徐々に2位以下を引き離しにかかる。Gクラスでは4番手スタートの33 KRM ケーズフロンティアGT3 Ogino Tetsuoと最後尾からスタートの7 D'stationHai997 星野敏が追いついてくる。総合では8松井が逃げ切り、トップでチェッカーを受け、2位には19 ナインレーシング 永井宏明、3位に22 KRMケーズフロンティア 飯田太陽、接戦のGクラスは最終ラップで33Oginoが2田島を捕らえ優勝、2位に2田島、3位に7星野の順となった。



RESULT リザルト チャンピオンクラス

Rank	No.	Name
1	8	松井 孝允
2	19	永井 宏明
3	32	飯田 太陽
4	25	神取 彦一郎
5	10	川口 正敬



RESULT リザルト ジェントルマンクラス

Rank	No.	Name
1	33	Ogino Tetsuo
2	2	田島 剛
3	7	星野 敏
4	27	眞野 壮一郎
5	3	江本 玄
6	21	高田 匠

REVIEW NISSAN GT-R Prestige Cup ROUND 2



今年から始まったこのNISSAN GT-R Prestige Cup、開幕戦のSUGOは残念ながら雪で開催が出来なかったで、今回が事実上の開幕戦となる。これが初レースというドライバーも参加をしているが、そこに賞典外でSuper GTなどで馴染みの藤井誠暢、田中哲也も参戦といったトップドライバーと一緒に走れるレースとなっている。午前中の予選でトップタイムを出したのは、さすがトップドライバーの一人、10 ASA Prestige GT-R TF 藤井誠暢タイムは1'48.972続いてレースは初参戦という25 coin park人と人を豊かに。の富田竜一郎が 1'49.509のタイムでフロントローに並んだ。1日目最後の決勝レースとなるこのクラスがスタートする頃には雲の間から晴れ間も見えて絶好のコンディションとなってきた。好スタートを切った25富田が1コーナーでインを抑えてトップに立つ、10藤井もファステストラップを塗り替えながら前に出るチャンスをうかがうが、初レース参戦の25 富田が8周のレースを逃げ切って優勝した。10藤井は賞典外のため、2位は23 GINZS MK GT-R 前川圭紀、3位には11 FPC Racing GT-R CTe 浦田建が入った。



RESULT リザルト		
Rank	No.	Name
1	25	富田 竜一郎
2	23	前川 佳紀
3	11	浦田 健
4	32	Jon Paul Van Loenhout
5	31	今中 大介

REVIEW AE111 Levin/Trueno ROUND 2



AE111は今回が2戦目、ザ・ワンメイクレース祭り 2013 富士 6月2日(日)2日目の最初のレース。この日の予報は雨となっていたが、朝からさわやかで良い天候に恵まれた。前日の予選でスターティンググリッドトップを獲得したのは、第1戦優勝した78 トウワケミカル高田μトレノ 冥賀直文 2'02.286のタイム。フロントローに並ぶのは22 IDI・マルヨシフルスロトレノ 宮崎敏、3番手には昨シーズンロードスターNA6クラスシリーズのチャンピオンの8 コーンズIDIレビン 雨宮恵司が入ってきている。10:30に決勝レースがスタートし、ボールの78冥賀がトップを押さえるが、その後ろでは上位6台が激しい戦いを各所で繰り広げる。レース中盤では、78冥賀の後ろに22宮崎、3番手には5 ウェタケワコーズED増島トレノ 小島寛之が上がってきた。10周のレースは78冥賀がポールトゥウィンで勝利を手にした。22宮崎と5小島の2位争いは後半激しさを増し、最終ラップの1コーナーで5小島が前に出て、2位には5小島、3位に22宮崎でフィニッシュとなった。2連勝を遂げた78冥賀はレース終了後に「こういう“流れ”ってあるんですねー。常に後ろを気にしながらの気の抜けないレースでした。当然、勝ちたいとは願っていましたが、このメンバーの中で2連勝はそうそう出来なかったと思っていました。連勝出来て、本当に嬉しいです」と話していた。



RESULT リザルト AE111		
Rank	No.	Name
1	78	冥賀 直文
2	5	小島 寛之
3	22	宮崎 敏
4	23	藤木 学
5	11	白井 利明
6	18	塩岡 雅敏
7	31	安藤 智
8	8	雨宮 恵司

REVIEW GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 2013 ROUND 2



関東シリーズの第2戦、全4戦で行われるこのシリーズは、ここ富士で3戦、ツインリンクもてぎで1戦というスケジュールとなっている。エントリー台数は45台と今シーズンも盛況なカテゴリー。予選トップタイムは108 犬印NヤサカファクターVitz 峯幸弘、2'16.987のタイム、2番手には開幕戦優勝の25 ネット東京Vitz 水谷大介、3番手には22 N千葉シュボルトFTμVitz 北田和哉となっている。決勝は45台のマシンがきれいにスタートし、108峯がトップのポジションをキープ、ダンロップコーナーで中盤グループの数台が接触、オーブンラップでセーフティカーが導入されることに。3周を終えたところでSCがビットロードに入り、リスタートが切られた。残り5週のレースとなるが、トップ争いもさることながら、各所で激しいバトルが繰り広げられ、最後まで目の離せないレースとなる。8週のレースを終えチェッカーを受ける時にはトップ3台が横並びで受けた。最後の最後で前に出た25水谷が優勝、2位には108峯がわずか0.007差で逆転され、3位には昨シーズンのシリーズチャンピオン予選4番手からのスタート 13 DjacWmヴィッツML 蓮田昭男が0.095秒差で表彰台の一角に入った。

RESULT リザルト Super FJ

Rank	No.	Name
1	25	水谷 大介
2	108	峯 幸弘
3	13	蓮田 昭男
4	22	北田 和哉
5	557	田中 淳貴
6	62	デバマン石渡



REVIEW LOTUS CUP JAPAN 2013 Elise Cup/2-Eleven Cup ROUND 2



Lotus Cup Japanは、Elise Cupと2-Eleven Cupの混走で行われるカテゴリーで今回が第2戦。サーキットを転戦しながら全5戦のシリーズとなっている。予選で総合トップのタイムを出したのは2-11クラス86 プロトワークス 大塚美容211 藤井芳樹、2'01.226のタイム、続いて88 AC m TeamLotus@88 坂田元憲、7GENROQ LCI 2-11 山田弘樹。EliseクラスではExpertクラスの25 ADVAN LCI ELISE 加藤寛規が2'09.759でトップ、後ろにはClubmanクラストップの16 Green Drop Racing 秋葉有一が2'09.840で付いている。14:40にレースはスタートし、各マシンがきれいに1コーナーに消えて行く。総合では88藤井がファステストラップを更新しながら徐々に2番低下を引き離し優勝した。一方Eliseクラスでは序盤に25加藤と16秋葉のバトルも行われたが徐々に25加藤は引き離す、そしてClubmanのトップ争いが白熱、16秋葉を追いかける2 Tito・クラブウィザムレーシング 佐藤孝洋が背後にぴったりと付く展開となったが、10週のレースは16秋葉が逃げ切った。

RESULT リザルト 2-11 Clubman

Rank	No.	Name
1	86	藤井 芳樹
2	88	坂田 元憲
3	7	山田 弘樹
4	35	大澤 明仁
5	12	佐野 新世



RESULT リザルト Elise Clubman

Rank	No.	Name
1	16	秋葉 有一
2	2	佐藤 孝洋
3	71	恒吉 匡